

講義・演習概要

(シラバス)

I C T人材育成特別研修

【令和2年9月29日～令和2年10月2日】

ICT人材育成特別研修課目、時限数及び担当講師一覧

(令和2年9月29日(火)～10月2日(金) 1時限=70分)

研修課目	時限数	担当講師	初講義日	頁
Society5.0時代の地方	1	植村昌代 総務省情報流通行政局地域通信振興課 課長補佐	9月29日	1
2040年を見据えた未来技術導入の必要性 (技術を使いこなす自治体経営戦略)	1	廣川聡美 HIRO研究所 代表	9月29日	1
「未来社会」というあやしくて創造的な非線形の世界	1	若新雄純 株式会社NEWYOUTH 代表	9月29日	2
行政情報分析基盤による業務改革とEBPMの推進	1	原秀樹 姫路市情報政策室 主幹	9月30日	3
徳島県におけるテレワークの取組	1	河原英治 徳島県経営戦略部人事課行政改革室 室長	9月30日	4
Society5.0時代のデータ活用	1	大屋誠 ヤフー株式会社 データソリューション事業本部 パブリックエンゲージメント部 部長	9月30日	4
データ流通基盤を活用した地域活性化	1	小出伸作 凸版印刷株式会社 ソーシャルイノベーション事業部 事業開発室 室長	9月30日	5
VR/ARやIoT遠隔コミュニケーションを活用した地域活性化	1	浅野正樹 凸版印刷株式会社 ソーシャルイノベーション事業部 先端表現技術開発本部 部長	9月30日	5
地域の課題解決に向けたグループ討議	7	村上文洋 株式会社三菱総合研究所 主席研究員	10月1日	6
合計	15			

Society5.0時代の地方	
担当講師	植村 昌代（総務省情報流通行政局地域通信振興課 課長補佐）
プロフィール	2000年郵政省（現総務省）入省。通信・放送分野の自治体支援等の業務に従事。 2017年福岡市 ICT 戦略課長（AI、RPAの推進等）、2019年より現職。 IoT、AI、RPA等の活用支援、オープンデータ推進などの業務を担当。
講義の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Society5.0を支えるIoTの地域実装の推進 2. 地域におけるIoT・AI実装の横展開の取組 3. AI等の革新的な技術を活用した行政のスマート化 4. データ利活用型スマートシティの推進 5. 地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし（講義資料は配布します）
参考図書	なし
2040年を見据えた未来技術導入の必要性（技術を使いこなす自治体経営戦略）	
担当講師	廣川 聡美（HIRO研究所 代表）
プロフィール	1975年～2012年横須賀市役所。財政課、企画調整課等を経て、情報政策課長、企画調整部長、副市長（この間、地域情報化計画策定、地域情報基盤構築、災害情報共有システム構築、情報通信研究機関の集積等の事業に関わった）、2015年HIRO研究所 設立。2015年～総務省地域情報化アドバイザー。2018年～関東学院大学（法学部地域創生学科）非常勤講師。
講義の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 技術導入の目的と意義 2 Society5.0とスマート自治体 3 経営戦略の要点 4 推進体制と役割分担 5 留意すべき事項
事前課題・持ち物など	所属する自治体の情報化計画を読んでくること。
教科書	なし（講義資料は配布します）
参考図書	なし

「未来社会」というあやしくて創造的な非線形の世界	
担当講師	若新 雄純（株式会社 NEWYOUTH 代表）
プロフィール	<p>慶應義塾大学院政策・メディア研究科 特任准教授、福井大学産官連携本部 客員准教授。学生時代に障害者の就労支援事業を行う株式会社 LITALICO（東証一部上場）を共同創業し COO を務める。大学でコミュニケーション論の研究を行いながら独立し、様々な企業・自治体・学校等で実験的事業や政策をプロデュース。福井県鯖江市では女子高生がまちづくり担う「役所 JK 課プロジェクト」を企画し、同市が総務大臣賞受国連演説行うなど注目集める。</p> <p>テレビ朝日「ワイド!スクランブル」などテレビ・ラジオ番組にコメンテーターとして多数レギュラー出演し、全国各地での講演研修・セミナー実績多数。</p> <p>著書に、『創造的脱力～かたい社会に変化をつくる、ゆるいコミュニケーション論』（光文社新書、2015年）『スタディサプリ 三賢人の学問探究ノート（2）社会を究める』（ポプラ社、2020年、共著）がある。</p>
講義の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未来社会とは何か ・まだ分からない技術を「まち」がどう使っていくか ・実験・研究的なことができるフィールドが作れるか
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし
参考図書	なし

行政情報分析基盤による業務改革と EBPM の推進	
担当講師	原 秀樹（姫路市情報政策室 主幹）
プロフィール	<p>1987 年 姫路市入庁、企画局情報管理課 （メインフレーム運用管理、システム開発）</p> <p>1995 年 民生局福祉部福祉課（福祉医療担当）</p> <p>1999 年 健康福祉局福祉部（福祉総合システム開発）</p> <p>2001 年 企画局企画調整部情報政策課（福祉総合システム開発）</p> <p>2003 年 都市局計画部都市計画課（局庶務、地域公共交通維持確保対策事業）</p> <p>2007 年 企画財政局政策経営部新総合計画推進課（総合計画策定）</p> <p>2009 年 教育委員会事務局学校教育部教育研究所・係長 （総合教育センター開設準備）</p> <p>2010 年 教育委員会事務局学校教育部総合教育センター教育支援課・係長 （教育情報化）</p> <p>2014 年 総務局総務部情報政策課・係長 （マイナンバー制度導入、情報システム最適化）</p> <p>2016 年 総務局情報政策室・課長補佐 （情報化計画、地域情報化、情報セキュリティ、マイナンバーカード多目的利用、庁内データ分析基盤、働き方改革等）</p> <p>2019 年 総務局情報政策室・主幹（情報政策、統計、住民情報システム担当）</p> <p>2020 年 総務局情報政策室・主幹 （情報政策担当、マイナンバー推進室、住民情報システム担当） 併任 市民局（特別定額給付金担当）</p>
講義の内容	<p>姫路市では、自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、市民が納得できる行政経営を行うためには、職員の経験やスキルだけに頼るのではなく、客観的事実（データ）から、地域の特性や課題、ニーズを把握しつつ、施策・事業を展開することが重要と考え、庁内業務データを元データとするデータ分析基盤「姫路市行政情報分析基盤」を構築し、業務に活用している。講義では、本取組みの背景や目的、分析手法、個人情報の取扱いの整理等の紹介を通じて、庁内データ利活用やデジタル化の推進の必要性について講義します。</p>
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし（講義資料は配布します）
参考図書	なし

徳島県におけるテレワークの取組	
担当講師	河原 英治 (徳島県経営戦略部人事課行政改革室長)
プロフィール	平成6年4月徳島県入庁、令和2年4月から現職
講義の内容	—徳島県におけるテレワークの取組— ・働き方改革の一環としてのテレワーク試行導入から本格実施までの取組経過 ・コロナ禍を受けての現状と課題、今後の取組
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし (講義資料は配布します)
参考図書	なし
Society5.0時代のデータ活用	
担当講師	大屋 誠 (ヤフー株式会社データソリューション事業本部 パブリックエンゲージメント部 部長)
プロフィール	クラウドサービス事業の立ち上げ、IoTプラットフォーム事業のR&D等を経て現職。 ヤフーのビッグデータと顧客データを活用したデータソリューション事業において、官公庁及び公共セクターのコンサルティングに従事。観光、交通、都市開発からCOVID-19対応など幅広く対応を行っている。
講義の内容	「Society5.0時代のデータ活用」 ・データを活用したデモンストレーション ヤフー株式会社が所持する官公庁向けのデータが利用できる仕組みを利用し、特定エリアへの人の移動データ分析、検索データを活用した潜在的なニーズの発見分析などのデモンストレーションを実施。
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし (講義資料は配布します)
参考図書	なし

データ流通基盤を活用した地域活性化	
担当講師	小出 伸作 (凸版印刷株式会社 ソーシャルイノベーション事業部 事業開発室 室長)
プロフィール	1999年より7年間、販売促進企業の企画部に勤務。2006年凸版印刷入社後、大手飲料・食品メーカーのマーケティング担当。2009年から官公庁、自治体担当し2014年より日本の食文化の情報発信サイト「SHUN GATE」を創設。自治体及び民間企業との食や地域に関連するプロジェクトを多数創出。2020年より現職。
講義の内容	①画像解析を活用した移住促進支援サービスや、訪日・在留外国人を対象とした多言語環境整備 ②地域経済活性化に向けた地域マネー ③地域資源の磨き上げ支援（商品開発～販路支援まで） 上記による地域活性化の取り組みをデモや事例を交えてご紹介します。
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし（講義資料は配布します）
参考図書	なし
VR/AR や IoA 遠隔コミュニケーションを活用した地域活性化	
担当講師	浅野 正樹 (凸版印刷株式会社ソーシャルイノベーション事業部 先端表現技術開発本部 部長)
プロフィール	1991年凸版印刷入社以来、企業の史資料、文化財のアーカイブ化と利活用事業を担当。東京国立博物館と収蔵品のデジタルアーカイブ化とVRコンテンツ公開の共同プロジェクトリーダーを経て、現在、地方活性化や企業のプロモーションおよび安全教育などのコンテンツ制作と5G向けコンテンツの用途開発を進めている。
講義の内容	VR配信プラットフォームサービスや各種デバイスを活用したIoA遠隔コミュニケーションによる地域の魅力発信や、高精細映像による防災・現在への取り組みなどについてデモや事例を交えてご紹介します。
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし（講義資料は配布します）
参考図書	なし

地域の課題解決に向けたグループ討議	
担当講師	村上 文洋 (株式会社三菱総合研究所 デジタル・イノベーション本部 主席研究員)
プロフィール	名古屋大学工学部建築学科卒業後、地域設計研究所株式会社、株式会社エイ・エス・ティを経て、1988年株式会社三菱総合研究所入社。専門は電子行政・AI活用、オープンデータ、ユニバーサルデザイン。政府の新戦略推進専門調査会・デジタル・ガバメント分科会構成員、データ流通環境整備検討会・オープンデータWG構成員、規制改革推進会議・投資等WG及び成長戦略WG専門委員、オープンデータ伝道師などを務める。
講義の内容	10/1 (木) 午前 講義「データ活用で変わる社会 AI等の新技術を活用した行政サービス改革」 10/1 (木) 午後 グループワーク (課題抽出から解決策の検討まで) 10/2 午前 成果発表と講評
事前課題・持ち物など	なし
教科書	なし (講義資料は配布します)
参考図書	なし

I C T人材育成特別研修 Syllabus

作成：自治大学校教務部

〒190-8581 東京都立川市緑町10番地の1

TEL (042) 540-4502 (教務部直通)

FAX (042) 540-4505 (教務部)
